

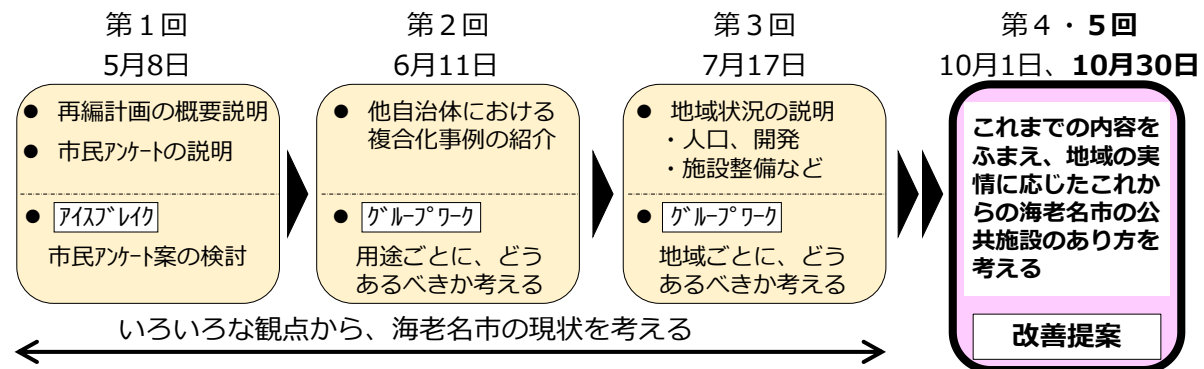
市民ワークショップ通信⑤

お問合せ先：海老名市役所 財務部営繕課 計画・修繕係 Tel.046-235-8451

海老名市の公共施設のあり方をみんなで考えています

海老名市では、公共施設再編（適正化）計画に関する市民ワークショップを5回にわたって開催し、自治会等の関係団体や高校生及び一般公募の方々による自由に活発な意見交換を行いました。

＜市民ワークショップの各回テーマ＞



第5回ワークショップを開催しました

最終回となる今回のワークショップは、31名の参加者が6班に分かれて、前回のテーマ「地域の実情に応じたこれからの公共施設を考えよう！～将来の海老名市公共施設（建物）の統廃合及び複合化について～」についてまとめた成果を基に、各班が順番に発表を行いました。各班のテーマ発表と合わせて各班員の多彩な主張も聞くことができ、大変勉強になる発表会になりました。

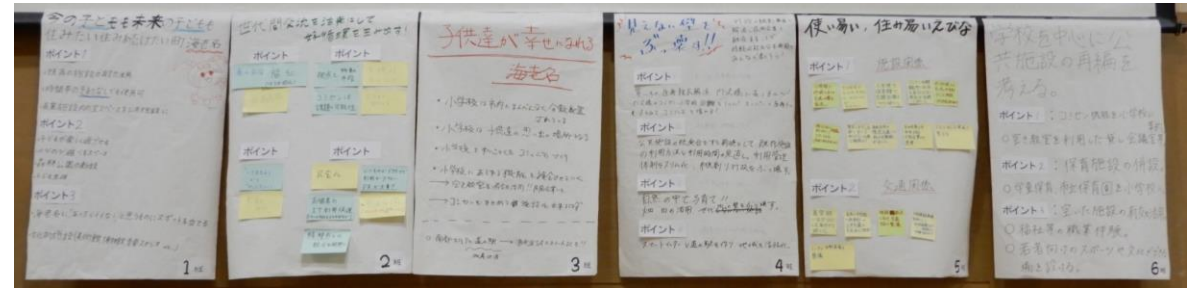
また、発表前には8月に実施しました「公共施設のあり方に関する市民アンケート」の結果報告のほか、市内複合化事例（門沢橋コミュニティセンター・有馬図書館）の現地リポートが参加者から飛び入りで行われました。

フォトギャラリー



グループワーク発表

■グループワークの成果



■再編のテーマ

1班	今の子どもも未来の子どもも住みたい 住み続けたい町 海老名
2班	世代間交流を活発にして好循環を生み出す！
3班	子供達が幸せになれる海老名
4班	見えない壁をぶっ壊す！！行政の縦割構造を解消し民間企業と融合することで持続可能な公共施設をみんなで創ろう！
5班	使い易い、住み易い えびな
6班	学校を中心に公共施設の再編を考える。

■主な提案内容

統廃合の前提として既存施設の利用方法と利用時間の見直し

空いた施設の有効活用で、若者向けのスポーツや文化の場

小学校を中心としたコミュニティづくり

商業施設内の空スペースを公共施設に

施設統合に向け交通手段の整備

門沢橋にスーパーと医療もまとめてコミバスを増やし買い物・医療難民解消

空き教室を利用した貸し会議室等

利用が少ないPRが大事！！

他地域との交流ができるイベント施設

森林公園の新設

南部エリアに道の駅（地産地消）

小学校にあらゆる機能を複合させていく

文化的施設（美術館、博物館、音楽スタジオ、etc.）

コミセン機能を小学校に集約

海老名市の歴史を通してみられる施設がほしい

自然の中で子育て！田畑の活用で世代間の壁をぶっ壊す

小学校に地域の方との交流の場を

最終回のまとめ

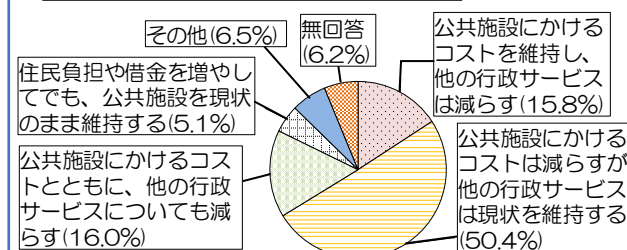


ファシリテーター

今後の公共施設のあり方として、「施設の統廃合・複合化」「学校を中心に公共施設の再編を考える」などのご提案がありましたが、それだけでなく、「交通手段を充実する」「民間企業と連携する」「既存施設の利用方法や利用時間を見直す」「世代間の公平を考慮する」といったソフト面の改善策が必要であることをご指摘いただきました。さらに、新たな利用者を取り込み、海老名を盛り上げるための方策として「SNSなどでPRを充実する」「イベントを企画する」「地域資源を活かした道の駅をつくる」などのアイデアも出ていたと思います。

興味深かったのは、どの班でも「こども・学校を中心に」「世代間交流の場」などのキーワードが出ていたことです。今回のワークショップにも多様な世代が参加されていますが、みんなが便利で住みやすい、わくわく楽しい、そんな姿を想像していることが伝わりました。最終回までありがとうございました。

■公共施設のあり方に関する市民アンケート（抜粋） Q3 今後の公共施設の取り扱い



Q4 公共施設にかかるコスト削減方法

